

事業所名 ※ グループホーム おおぞら

日付 平成 21 年 12 月 5 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 健康運動指導士
実務経験10年以上

ホームヘルパー2級
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る ※

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!) ※

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

交通量の多い道から少し離れた閑静な住宅地にホームは位置している。敷地内は緑が多く、落ち着いた印象である。来客や家族を迎える最初の場所である玄関は吹き抜けになっていて、明るく、清潔で、管理者の心配りが感じられる。スタッフの顔写真が掲示され、外部評価の報告書なども公開されている。

訓練されたセラピードッグではないが、マナーを身につけた犬が2匹いて、入居者に良い癒し効果をもたらしているようである。入居者は毎日をゆったりと過ごし、職員とともに近所への散歩や買い物、時々のお食を楽しみにしている。

職員は自分の親を看ている気持ちで、入居者に接していくよう心懸けて業務に励んでいる。ターミナルケアにも対応しており、医師や看護師との密接な連携が図られている。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

介護記録やヒヤリハットの記録が現状を把握し、サービスの向上につなげていくことができるようになっているか再度、皆で話し合う機会を持つと良いのではと感じました。また、介護予防のための取り組みが少し少ないように感じました。体が動く入居者のために、移乗や歩行訓練、動きの改善など、日常生活に身体活動をもっと取り入れたらさらに良いのではと思います。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	職員は自分の肉親を看るような気持ちで入居者を支援し、家族が安心して何でも相談できるホームを目指している。また、積極的にターミナルケア(医療行為のない)にも取り組んでいる。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者が居室に閉じこもることのないように、居間でテレビを見る時、個人に合わせた場所や椅子を用意するなど、快適に過ごしてもらえるように配慮している。また、各ユニットには小型犬がおり、入居者にとても可愛がられている。入居者は撫でたり言葉をかけたり、犬と触れ合うことで心が和むようである。買い物は職員と共に出かけ、時々のお食を入居者はとても楽しんでいる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持		○
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	職員は入居者一人ひとりの状態や性格を把握し、食事の時など自分の座る場所を考えて入居者に言葉をかけて許諾を得てから座るなど、気を使いながら接している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進		○
37	ホーム機能の地域への還元		○
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	口腔ケアなどをテーマに、定期的に職員研修を実施している。また、ターミナルケアを志向しており、家族や医師、看護師との連携を取りながら、できるだけ援助ができるように職員が協力しあい頑張っている。		